



博物館だより

No. 214 2013. 2

# ミニミニマインズ

## 平成25年度 サイエンスボランティア を募集しています

平成25年4月1日から平成26年3月31日までの1年間、鉱業博物館の様々な仕事をサポートして下さるサイエンスボランティアを募集いたします。

今年度も多くのサイエンスボランティアの方々が様々な場面で活躍されました。

鉱業博物館の顔として、豊富な知識を生かした展示案内や小中高生などの団体見学時のサポート、イベントのお手伝いなどの活動をしてくださりました。また花プランターの植付けや展示標本の整理、補修など裏方を支える作業にも精を出してくださいました。

ボランティア活動にあたっては、専任講師や研究員の先生方が博物館のこと、標本のことをわかりやすく解説する講習会や、関連施設や野外に出かけての研修会など、活動をサポートする体制が充実していますので安心してご参加ください。

人と接することが好きな方、手先が器用な方、博物館が好きで何かに関わってみたい方など、高校生以上の方であれば性別・職業を問わずどなたでもご参加できます。得意な分野で、できる範囲で、参加してみませんか？

◆活動内容：見学者への案内と説明  
見学者へのサポート  
館内環境整備等のサポートなど

◆活動期間：1年間

◆募集対象：高校生以上の方であればどなたでもご参加できます

◆募集期間：平成25年1月25日(金)～3月29日(金)

◆申込み先：鉱業博物館事務室までご連絡ください。  
(土日祝日を除く9時～16時)

TEL 018-889-2461

E-mail w3admin@mus.akita-u.ac.jp

今年度登録している方も毎年度の更新が必要です。改めてお申し込みくださいますようお願いいたします。

### 活 動 紹 介

#### ◆ 見学案内 & 見学サポート

年々団体見学が増えています。小中高生の学習の場として、地域の方の生涯学習の場としての来館が顕著です。それに伴って展示の案内の要望も増加しており、案内をして下さる方を広く募集しています。標本に関する情報や案内のポイントなど勉強できるDVDを貸し出していますので、ぜひご利用ください。興味のある自分の好きなコーナー1ヶ所からでも案内を始めてみませんか？

また、団体見学時に小中学生のサポートをして下さる方も大歓迎です。「専門的な内容の案内はちょっと」という方もお気軽にご参加ください。



#### ◆ サイエンスボランティア講習会



年度初めの講習会では、標本の見どころや案内の際のポイントなどを講習します。今年度はリニューアル後初めての講習会となり、当館の西川治専任講師と今井忠男主事が2日間にわたってじっくりと解説しました。1階の鉱物・鉱石、2階の岩石や化石、3階の資源開発、屋外の大型標本など博物館を隈なく巡り、標本の魅力に迫りました。講習会は年数回開催されます。



#### ◆ 標本の整理や修理 環境美化 など



古くなった標本台の修理、標本ラベルの作成、模型の修復作業など多様な要請に対処していただきました。

#### ◆ サイエンスボランティア研修会

毎年、県内や近隣県の関連施設やフィールドで研修を行っています。最近では岩手大学ミュージアム、県立博物館、白瀬南極記念館で展示の見学、野外では男鹿、能代、森岳や大仙市などに出かけ地形や地層の観察を行いました。

地学に関する知識を深めていただくとともに、メンバーの親睦を図るよい機会となっています。



### 鉱業博物館を

ご利用ください

当館の講堂および特別展示室の貸し出しを行っています。

営利目的の場合を除いて講習会やセミナー、発表会、式典などの会場として、講堂および特別展示室が利用できます。利用時間は原則 9:00~16:00 の時間内ですが、ご相談に応じます。詳細は事務室までお気軽にお問い合わせください。

### ■3階講堂

映像と音響設備の更新を順次行っています。講習会やセミナー等の会場として一層便利になりました。3月中旬には最新の天井吊下げ型プロジェクターを設置しますので、ブルーレイを始めとした映像ソフトの再生が可能になります。またスピーカーを2つから4つに増設しました。

収容人数 長机・いす使用 50 名位  
いすのみ使用 100 名位



講堂で開催された県生活センター主催の「暮らしの達人セミナー」の様子

### ■2階特別展示室

扇形の展示スペースです。展示用パネルも使用できますので、作品発表の場としても最適です。



工学資源学研究科技術部活動写真展



TEL 018-889-2461

## 平成 25 年度 企画展 「**鑛**(こう)のきらめき ~その美しい色と形~

出張展示のお知らせ

今年の春、「エリアなかいち」に暫定オープンしている新秋田県立美術館 1F ギャラリーで、鉱業博物館のコレクションを出張展示することになりました。

博物館を飛び出し、街中で展示を行う初の試みで、平成 25 年度企画展として、色彩や造形の美しさ、おもしろさにスポットを当てて当館選りすぐりの標本を展示いたします。新県立秋田美術館など秋田市内の 3 つの美術館で発行しているフリーペーパー「art line」(3 月中旬発行)でも紹介される予定ですのでぜひご覧ください。

現在 4 月の開催に向けて着々と準備を進めています。詳しい日程等につきましては次号でお知らせいたします。

## 黒 鉱 の こ と

茨城県自然博物館に貸し出しをしていた黒鉱の標本が帰ってきました。昨年秋の企画展「鉱—レアメタル、レアアース、新資源を探せ—」の展示の目玉として貸し出していたものです。

黒鉱はかつての日本の発展を支えてきた豊富な地下資源の象徴として、また近年注目を集めるレアメタルを含む鉱物として展示されました。黒鉱発祥の地、小坂や花岡など秋田県は黒鉱の一大産地であり、鉱業博物館では世界に誇れる貴重な大型標本を多数所蔵しています。今回貸し出した標本も横寸法約 80cm、重さは約 850kg で大変見応えがあり、来館者に好評だったとのことでした。



専用運搬機を使っでの移動



## 英語版リーフレット 完成しました

英語版の案内リーフレットができました。留学生や海外からの見学者に配布いたします。また PR 用として配布をご希望される方は、事務室までご連絡ください。

## 標本の紹介 「阿仁鉱山 銅山働方之図」

はたらきかたのす

今回は 4 月開催の「平成 25 年度企画展」で展示する予定の資料の中から紹介いたします。「秋田の鉱山史」コーナーの中でも特に目を引くこの絵巻物は 1864 年(元治元年)に制作され、国内第一の銅山だった江戸期の阿仁鉱山の様子を今に伝えています。

鉱石の採鉱から製錬を経て粗銅が生産されるまでの 30 に及ぶ場面で構成されており、作業の一連の流れを把握することができます。そこで働く人々も生き生きと描かれ、当時の鉱山技術だけでなく風俗を知る上でも大変貴重な資料です。

現在展示しているものは絵巻の一部分ですが、企画展では特注の展示ケースを作製して全長約 9m の絵巻物をすべて広げて公開する予定です。



絵巻や絵図・書簡などが展示されている鉱山史コーナー。サイエンスボランティアから秋田の鉱山についての説明を受ける北秋田市から見学に来た中学生たちは、地元の話に興味津々



各工程ごとに詞書が記され、色鮮やかな迫力ある場面が順を追って展開されています

